

リーディングDXスクール事業【実践事例】

横浜市立鴨居中学校

【取組内容】②情報活用能力の育成

【各教科における発表する活動の取り組み】

入学当初から教科や行事等でグループでの資料作成や発表を重ねてきた。1年生の頃は資料の見栄えをよくすることに意識が向いていたが、2年生を迎え何を訴えたいのかを意識して作成できるようになってきている。各教科で先生やクラス、学年に向けて発表する機会を作ることで、発表活動だけでなく、テーマ決めや資料集め、スライド作成などの流れを意識して準備ができるようになっていく。自分の進捗が遅れていると感じると家庭で取り組むなど自己調整する姿勢も見られている。

《各教科での発表する学習活動の例》

総合的な学習の時間

校外学習の事後学習で、グループごとに共同編集したスライドを活用して発表した。見学したこと、報告だけでなく、班としての目標に対する取り組みや反省を含めた構成になっており、班で資料作成を行う過程で活動を振り返り評価することができた。

※育成を目指す情報活用能力
活動を振り返り評価できる



英語

AETの先生に日本のおすすめの場所を紹介するプレゼンテーションを行った。自分がおすすめだと思ふ場所についてインターネット等で情報を収集し魅力が伝わるような資料や原稿を作成し、発表することができた。

※育成を目指す情報活用能力
受け手の状況に合わせて、見やすさを考えて資料を作ることができる



数学

オリジナルの数の性質を見つけて発表する活動を行った。プレゼンテーション形式での発表や説明資料をクラスで見られるフォルダに保存するオンライン発表を行い、自分の考えを式や図、説明文などで表現した。

※育成を目指す情報活用能力
目的や意図に応じて情報をまとめ、複数の表現手段を組み合わせて表現することができる

